

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理又は交換をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、製品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただき、お買い上げの販売店にお申しつけください。ただし消耗品・付属品は除く。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、カスタマーセンターにご連絡ください。
 - ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにご連絡ください。
 - ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、カスタマーセンターへご連絡ください。
 - 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
(ホ) 一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
(ヘ) 本書の添付がない場合。
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
(チ) 持込修理の対象製品を直接カスタマーセンターへ送付した場合の送料等はお客様のご負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様のご負担となります。
 - 本書は日本国内での使用においてのみ有効です。
 - 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 消耗品・付属品は保証の対象外です。
- 修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

récolte® レコルト ミルクティーメーカー 保証書

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合には本書上記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票上記に記載しております。

保証期間	お買い上げ日より	本体1年間	お買い上げ日	年	月	日
お客様			販売店			
ご住所 〒	—		住所・店名			
お名前		様				
電話 ()	—		電話 ()	—		

ウィナーズ株式会社

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター TEL.03-6662-7100 受付時間 10時～12時/13時～17時(土日祝日を除く)

住所 〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-18-12 ソークンビル4F

This product is for use inside Japan only. Do not use outside Japan.

This warranty is valid only in Japan.

BA-RMT1-03-2302

récolte®

Milk Tea Maker

レコルト

ミルクティーメーカー

RMT-1



取扱説明書

この度はレコルト ミルクティーメーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

This product is for use inside Japan only. Do not use outside Japan.

INDEX

安全上のご注意	1-4
各部(パーツ)の名称	5-6
はじめてお使いになる際、 またはしばらく使わなかったときに	6
Milk teaモード/Teaモード	7-9
Instantモード	9-11
Milk foamモード	11-12
Stirモード	13-14
お手入れのしかた	15-16
故障かな?と思ったら	17
仕様	18
無料修理規定/保証書	裏表紙

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター

TEL.03-6662-7100

【受付時間】
10時～12時/13時～17時(土日祝日を除く)

【住所】
〒125-0062
東京都葛飾区青戸4-18-12 ソークンビル4F

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
内容表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示は、禁止(してはいけないこと)を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



この表示は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示



この表示は、注意を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意

警告



分解禁止

◆改造はしない。また、分解したり修理をしない。

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、カスタマーセンターにご相談ください。



必ず行う

◆電源プラグは、交流100Vで「15A125V」の壁面コンセントに直接差し込む。(日本国内専用)

故障・発熱・火災・感電の原因になります。

◆定格15A以上のコンセントを単独で使用する。タコ足配線はしない。

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常過熱して、発火することがあります。

◆異常・故障時には直ちに使用を中止し電源プラグを抜く。

発煙・発火・感電・やけど・けがの原因になります。

〈異常・故障例〉

- ・電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- ・電源を入れているのに動かない
- ・電源コードに傷がついたり、通電しなかったりする
- ・本体が変形したり、異常に熱くなったりする
- ・こげ臭い・発煙している

▶すぐにカスタマーセンターに点検・修理を依頼してください。

◆電源プラグをなめない。

乳幼児が電源プラグを誤ってなめないように注意すること。感電やけがの原因になります。

◆電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む。

感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

◆動作していないことを確認してから電源プラグを抜き差しする。

感電・ショート・火災・発火の原因になります。

◆変形・破損などの異常や故障と思われる状態では使用を中止する。

火災・感電・けがの原因となります。



必ず行う

◆以下の場合には使用を止め、当社の点検・修理を必ず受ける。

- ・製品に不具合、損傷がある。
- ・製品を床に落とした。

▶カスタマーセンターに点検・修理を依頼してください。



電源プラグを抜く

◆電源プラグを抜く時は、電源コードを持たず必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電・ショート・発火の原因になります。

◆使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



ぬれ手禁止

◆ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしたり、操作したりしない。

感電・けがをする原因になります。



水ぬれ禁止

◆本体を水につけたり、水をかけたり、洗い流したりしない。また湿気が多い場所、水が掛かる場所、水場で使用しない。

感電・ショートの原因になります。



接触禁止

◆蒸気に触ったり、顔などを近づけない。

やけどの原因になります。

◆使用中や使用直後は高温部に触れない。

やけどの原因になります。



禁止

◆電源コードは破損したまま使用しない。電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

◆電源プラグやプラグ挿入口にピン等の金属片やゴミを付着させない。

感電・ショート・火災・発火の原因になります。

◆電源プラグやプラグ挿入口にほこりが付着している場合は、よく拭き取る。

火災の原因になります。

◆電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

断線・故障・感電・ショート・火災・発火の原因になります。

◆ねじれが戻らなくなった電源コードは使わない。

感電・ショートの原因になります。

◆子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない、保管しない。

感電・けがをするおそれがあります。



禁止

- ◆**長期間の使用や誤使用により、電源コードが断線する恐れがあるため、次の状態が確認されたときは使わない。**
火災・感電・やけど・ショートのおそれがあります。
 - ・電源コードがねじれて戻らなくなった
 - ・電源コードの根元部分に変形・傷んでいる
 - ・コンセントの差し込みがゆるい
- ◆**取扱説明書に記載のない目的・方法で使用しない。**
けが・事故の原因になります。
- ◆**水や牛乳など水分が入っていない状態で使用しない。**
故障の原因になります。
- ◆**MAXライン以上、Milk foamライン以下に水や牛乳を入れない。**
やけど・感電・けが・故障の原因になります。
- ◆**使用中に本体をゆすったり、キャップを持って移動しない。**
やけど・故障の原因になります。
- ◆**キャップをふきんなどでふさがない。**
やけど・故障の原因になります。
- ◆**直火(ガス台など)や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に乗せない。**
火災の原因になります。
- ◆**塩素系成分を含んだ洗剤・漂白剤は使用しない。**
錆が発生し、本体内部の金属の破損、ひび割れの原因になります。

⚠ 注意



電源プラグ
を抜く

- ◆**お手入れは必ず電源プラグを抜いてから行う。**
感電の原因になります。



必ず行う

- ◆**使用後は必ずお手入れをし、常に清潔な状態に保つ。**
汚れは故障の原因になります。
- ◆**本製品を移動させるときは、電源プラグを抜いて本体を持つ。**
転倒・破損・故障の原因になります。
- ◆**調理後、カップに注いだり、持ち運ぶ際は本体の下部を持つ。**
やけどの原因になります。
- ◆**2回連続使用後は、1時間程度休ませる。**
故障・発熱の原因になります。



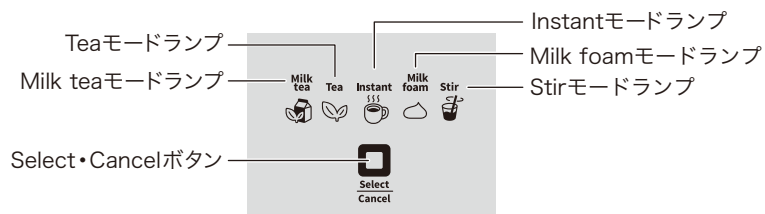
禁止

- ◆**不安定な場所やカーペット・座布団・敷物等の不安定な場所で使用しない。**
やけど・けが・転倒・破損・故障の原因になります。
- ◆**物を載せない。落下しやすい場所に設置しない。**
発熱・発火・感電・けがの原因になります。
- ◆**使用中にお子様やペットを側に近づけない。**
けが・やけど・転倒・故障の原因になります。
- ◆**室内で使用する。直射日光・雨が当たる場所に置かない、使用しない。**
感電・故障の原因になります。
- ◆**屋外で使用しない。**
故障の原因になります。
- ◆**調理以外の用途に使用しない。**
破損・故障・発火の原因になります。
- ◆**ストーブやガスコンロなど熱源のそばや、引火性ガスのある場所で使用しない。**
発火・火災・爆発の原因、プラスチック部分が熱で破損するおそれがあります。
- ◆**倒す、落とす、ぶつけるなど本体に強い衝撃を与えない。**
故障の原因になります。
- ◆**本体を丸洗いたり、プラグ挿入口に水分を付着させない。**
ショート・感電・故障の原因となります。
- ◆**本体を電子レンジや食器洗浄機、食器乾燥機に入れない。**
変形・故障の原因になります。
- ◆**金属製・ナイロン製のたわし・磨き粉・ベンジン・シンナー・漂白剤などを使わない。**
変形・変色・表面に傷がついたり、故障の原因になります。
- ◆**本製品は家庭用なので、業務用として使わない。**
故障の原因になります。
- ◆**調理中は、移動させない。**
やけどの原因になります。

各部(パーツ)の名称



●ボタンと各モードについて



各モードの説明	Select・Cancelボタン	ボタンをタッチするごとに「ピッ」と鳴り、各モードのランプが順に点滅します。モード選択後、約3秒経過すると選択したモードで調理を開始します。もう一度ボタンをタッチすると「ピッ」と鳴り、選択したモードがキャンセルになり、 Select・Cancelボタン のランプが消灯します。
	Milk teaモード	ミルクティーを作るモードです。選択すると「Milk teaモードランプ」が点滅します。点滅後、点灯に変わり、調理を開始します。(p.7)
	Teaモード	紅茶、お茶を作るモードです。選択すると「Teaモードランプ」が点滅します。点滅後、点灯に変わり、調理を開始します。(p.7)
	Instantモード	インスタントコーヒーやココア、スープなどを作るモードです。選択すると「Instantモードランプ」が点滅します。点滅後、点灯に変わり、調理を開始します。(p.9)
	Milk foamモード	ミルクフォームを作るモードです。選択すると「Milk foamモードランプ」が点滅します。点滅後、点灯に変わり、調理を開始します。(p.11)
Stirモード	粉末ドリンクなどを作る、加熱せずに攪拌するモードです。選択すると「Stirモードランプ」が点滅します。点滅後、点灯に変わり、調理を開始します。(p.13)	



はじめてご使用になる際、またはしばらく使わなかったときに

はじめてお使いになるときや長期間お使いにならなかったときは、**【本体】**内側と**【キャップ】**、**【ストレーナー】**、**【カバー】**、**【パッキン】**、**【フローサー】**を水洗いし、乾いたやわらかい布できれいに拭いてからご使用ください。

※**【フローサー】**と**【パッキン】**の取り外しは、「お手入れのしかた」(p.16)を参照してください。

Milk Teaモード/Teaモード

ミルクティー/紅茶やお茶を作るモードです。

モード	温度	調理時間	動作
Milk Tea 	約70℃	約8分30秒～10分	攪拌、休止を繰り返しながら加熱し、約70℃をキープします。
Tea 	約100℃	約8分～11分	約100℃まで加熱し、ヒーターが止まった1分後に調理を終了します。

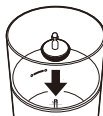
※調理時間は目安です。温度、水量によって異なります。

※「Teaモード」は、動作中に「カチッカチツ」と音が出ますが、故障ではございません。

1 【フローサー】を【本体カップ】内の【軸棒】にセットする

※「Teaモード」は【フローサー】を取り外してください。

【フローサー】は【軸棒】に磁石でセットされます。



2 【本体】に牛乳、または水を注ぎ【カバー】で閉じる

牛乳、または水を【本体】に注ぎます。

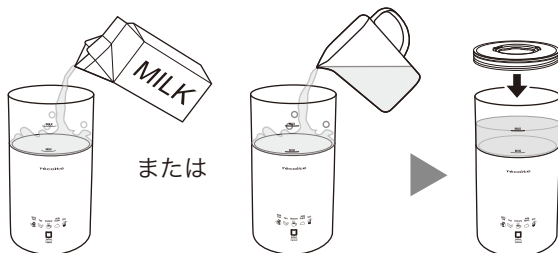
〈水量の目安〉

Milk tea モード	「MINライン(約240ml)」～「MAXライン(約350ml)」
Tea モード	「MINライン(約240ml)」～「MAXライン(約350ml)」 ※【ストレーナー】無し 「Milk foamライン(約100ml)」～「MAXライン(約350ml)」

※Teaモードの際、牛乳のみで温めるとこげつきます。牛乳をご使用の場合は、牛乳と水を3:1になるように入れてご使用ください。

※コンデンスミルクやジャムなどの焦げ付きやすいものは入れないでください。

※牛乳または水の量が少ない、もしくは茶葉が多い場合、牛乳または水に茶葉が浸らないことがあります。MAXラインを超えない範囲で牛乳または水の量を増やすか、茶葉の量をご調整ください。

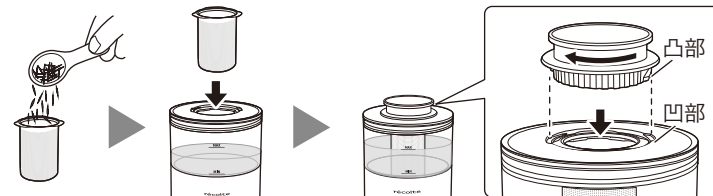


7

3 【ストレーナー】に茶葉を入れて【カバー】に通し、【キャップ】を閉じる

お好みの量の茶葉を【ストレーナー】に入れ【カバー】に通し、【キャップ】の凸部を【カバー】の凹部に合わせ、回してしっかりと閉じます。

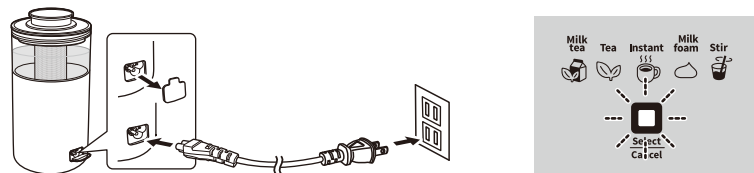
※【ストレーナー】が不要な調理の場合は使用しないでください。



4 【電源プラグ】【器具用プラグ】を接続する

【器具用プラグ】を【本体】の【プラグ挿入口】にしっかりと差し込み、【電源プラグ】をコンセントに差し込みます。【電源プラグ】をコンセントに差し込むと「ピツ」と鳴り、ランプが全点灯後 Select・Cancel ボタンが点滅します。

※約10分操作をしないと Select・Cancel ボタンが消灯します。



5 Select・Cancel ボタンをタッチして「Milk teaモード」、または「Teaモード」を選ぶ

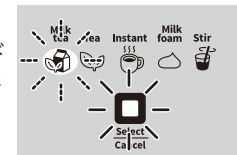
Milk teaモード

Select・Cancel ボタンをタッチすると、「Milk teaモードランプ」が点滅します。ランプが点滅から点灯に変わると調理がはじまります。

Teaモード

「Milk teaモードランプ」が点滅している間に、Select・Cancel ボタンをタッチすると、順にモードを選ぶことができます。「Teaモードランプ」を選び、ランプが点滅から点灯に変わると調理がはじまります。

●途中で中止したいとき
Select・Cancel ボタンをタッチする。



8

6 調理が終了したら【電源プラグ】【器具用プラグ】を抜く

調理が終了すると、「ピッピッピッ」と鳴り、各モードのランプが消灯し、Select・Cancelボタンが点滅します。【電源プラグ】をコンセントから抜き、【器具用プラグ】を【本体】の【プラグ挿入口】から抜きます。

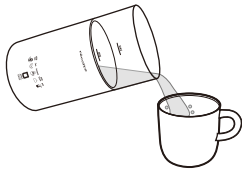
7 【カバー】を外して、カップに注ぐ

※カップに注ぐときは【本体】の下部を持ってください。

※【カバー】を外す際、熱い蒸気や湯気がでます。やけどにご注意ください。

⚠ 注意

- 【本体】が熱くなっています。【カバー】を外すときや注ぐとき、【器具用プラグ】を【本体】の【プラグ挿入口】から抜くときは、やけどにご注意ください。



8 「お手入れのしかた」(p.15～16)を参照し、お手入れをする

⚠ 注意

- ◆【本体】に何も入れない状態で、調理を行わない。故障・発熱の原因になります。

Instantモード

インスタントコーヒーやココア、スープなどを作るモードです。

モード	温度	調理時間	動作
Instant 	約95℃	約5分30秒～7分	約95℃まで加熱し、最後に約15秒攪拌します。

※調理時間は目安です。温度、水量によって異なります。

※【ストレーナー】は使用しません。

※牛乳のみで温めるとこげつきます。牛乳をご使用の場合は、牛乳と水を3:1になるように入れてご使用ください。

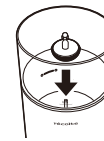
※コンデンスミルクやジャムなどの焦げ付きやすいものは入れないでください。

⚠ 注意

- ◆【本体】に何も入れない状態で、調理を行わない。故障・発熱の原因になります。

1 【フローサー】を【本体カップ】内の【軸棒】にセットする

【フローサー】は【軸棒】に磁石でセットされます。

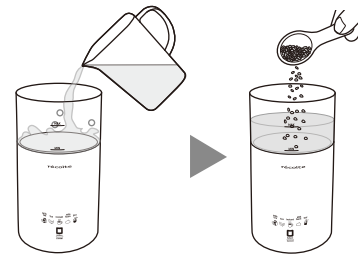


2 【本体】に水を注ぎ、インスタントコーヒーやココア、スープなどの粉を入れる

お好みの量の水、粉を【本体】に入れます。

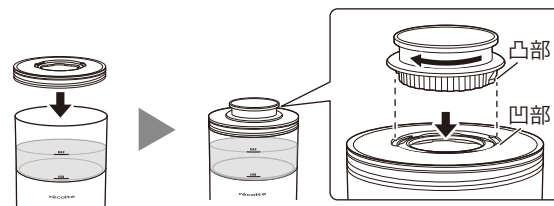
〈水量の目安〉

Instant モード 「Milk foamライン(約100ml)」～「MAXライン(約350ml)」



3 【カバー】と【キャップ】で閉じる

【キャップ】の凸部を【カバー】の凹部に合わせ、回してしっかりと閉じます。



4 【電源プラグ】【器具用プラグ】を接続する

「Milk teaモード／Teaモード」(p.8)の手順4を参照してください。

5 Select・Cancelボタンをタッチして「Instantモード」を選ぶ

Select・Cancelボタンをタッチすると、「Milk teaモードランプ」が点滅します。「Milk teaモードランプ」が点滅している間に、Select・Cancelボタンをタッチすると、順にモードを選ぶことができます。「Instantモードランプ」を選び、ランプが点滅から点灯に変わると調理がはじまります。



●途中で中止したいとき
Select・Cancelボタンをタッチする。

6 「Milk teaモード/Teaモード」(p.9)の手順 6～8 を行う

Milk foamモード

ミルクフォームを作るモードです。

モード	温度	調理時間	動作
Milk foam 	約65°C	約3分	攪拌しながら加熱し、約65°Cをキープします。

※調理時間は目安です。温度、水量によって異なります。

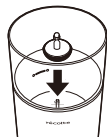
※【ストレーナー】は使用しません。

⚠ 注意

◆【本体】に何も入れない状態で、調理を行わない。
故障・発熱の原因になります。

1 【フローサー】を【本体カップ】内の【軸棒】にセットする

【フローサー】は【軸棒】に磁石でセットされます。

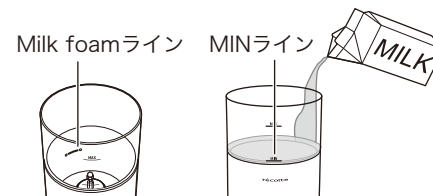


2 【本体】に牛乳を注ぐ

必要な量の牛乳を【本体】に注ぎます。

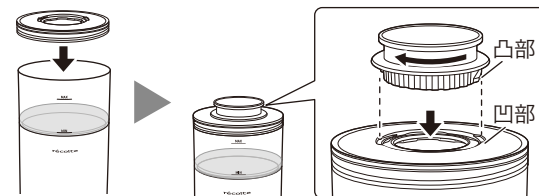
〈水量の目安〉

Milk foamモード 「Milk foamライン(約100ml)～「MINライン(約240ml)」



3 【カバー】と【キャップ】で閉じる

【キャップ】の凸部を【カバー】の凹部に合わせ、回してしっかりと閉じます。



4 【電源プラグ】【器具用プラグ】を接続する

「Milk teaモード/Teaモード」(p.8)の手順 4を参照してください。

5 Select・Cancelボタンをタッチして「Milk foamモード」を選ぶ

Select・Cancelボタンをタッチすると、「Milk teaモードランプ」が点滅します。「Milk teaモードランプ」が点滅している間に、Select・Cancelボタンをタッチすると、順にモードを選ぶことができます。「Milk foamモードランプ」を選び、ランプが点滅から点灯に変わると調理がはじまります。




●途中で中止したいとき
Select・Cancelボタンをタッチする。

6 「Milk teaモード/Teaモード」(p.9)の手順 6～8 を行う

Stirモード

粉末ドリンクなどを加熱せずに攪拌するモードです。

モード	温度	調理時間	動作
Stir 	加熱なし	約2分	加熱はせず、攪拌のみ行います。

※【ストレーナー】は使用しません。

⚠ 注意

◆【本体】に何も入れない状態で、調理を行わない。
故障・発熱の原因になります。

1 【フローサー】を【本体カップ】内の【軸棒】にセットする

【フローサー】は【軸棒】に磁石でセットされます。

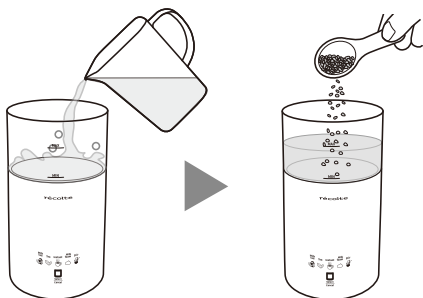


2 【本体】に攪拌する液体、粉末ドリンクなどを注ぐ

必要な量の液体、粉末ドリンクなどを【本体】に注ぎます。

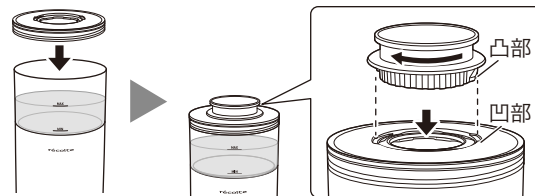
〈水量の目安〉

Stirモード	「Milk foamライン(約100ml)」～「MAXライン(約350ml)」
---------	---



3 【カバー】と【キャップ】で閉じる

【キャップ】の凸部を【カバー】の凹部に合わせ、回してしっかりと閉じます。

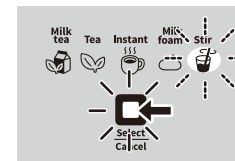


4 【電源プラグ】【器具用プラグ】を接続する

「Milk teaモード/Teaモード」(p.8)の手順4を参照してください。

5 Select・Cancelボタンをタッチして「Stirモード」を選ぶ

Select・Cancelボタンをタッチすると、「Milk teaモードランプ」が点滅します。「Milk teaモードランプ」が点滅している間に、Select・Cancelボタンをタッチすると、順にモードを選ぶことができます。「Stirモードランプ」を選び、ランプが点滅から点灯に変わると調理がはじまります。



●途中で中止したいとき
Select・Cancelボタンをタッチする。

6 「Milk teaモード/Teaモード」(p.9)の手順6～8を行う

お手入れのしかた

お手入れは必ず、【電源プラグ】を電源コンセントから抜き、【器具用プラグ】を【プラグ挿入口】から抜いて、【プラグ挿入口カバー】を付けます。【本体】が冷めてからお手入れを行ってください。

⚠ 注意

- ◆使用後すぐのお手入れはしない。
やけどの原因になります。
- ◆金属たわし、ナイロンたわしなどは使用しない。
変形、変色、表面に傷がついたり故障の原因になります。
- ◆シンナー、ベンジン、アルコール、化学洗剤などは使用しない。
変形、変色、表面に傷がついたり故障の原因になります。
- ◆食器洗浄機や食器乾燥機、熱湯などは使用しない。
変形、変色の原因になります。

【本体】外側のお手入れ

台所用中性洗剤をうすめた水またはぬるま湯にやわらかい布などを浸し、かたくしぼって【本体】を拭いた後、乾いた布で洗剤を十分に拭き取ってください。

⚠ 注意

- 【本体】底部を水で濡らさないでください。
- 【カップ】の周り（【本体】の外側）を水で濡らさないでください。



【本体】内側のお手入れ

台所用中性洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジなどを使用して洗ってください。洗った後は水でよくすすぎ、十分に乾かしてください。

汚れが落ちにくい場合は、本体にクエン酸大さじ1杯(約15g)と50℃くらいのお湯を「MAXライン」まで入れてよく混ぜ溶かし、15分程度浸けてください。浸け置き後、やわらかいスポンジなどで汚れを落とし、水でよくすすぎ、十分に乾かしてください。

焦げ付いた汚れの場合

本体に重曹大さじ1.5杯(約25g)と50℃くらいのお湯を「MAXライン」まで入れてよく混ぜ溶かし、15分～30分浸けてください。浸け置き後、やわらかいスポンジなどで汚れを落とし、水でよくすすぎ、十分に乾かしてください。

【カバー】、【パッキン】のお手入れ

【カバー】から【パッキン】を軽く引っ張りながら外し、台所用中性洗剤をうすめた水やぬるま湯で、やわらかいスポンジなどを使用して洗ってください。洗った後は水でよくすすぎ、乾いた布で水気を拭き取って十分に乾かしてください。十分に乾かした後、パッキンを取り付けてください。



【フローサー】、【ストレーナー】のお手入れ

【フローサー】は【本体】内側の底部に磁石で取り付けられています。【フローサー】をつまんで持ち上げると取り外せます。

【フローサー】、【ストレーナー】は台所用中性洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジなどを使用して洗ってください。洗った後は水でよくすすぎ、十分に乾かした後、元に戻してください。

保管

お手入れのあとは、十分に乾燥させてから直射日光のあたらない通気性の良い場所で保管してください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったときは、修理の依頼をされる前に、下記内容をご確認ください。
問題が解決しない場合は、カスタマーセンターにご相談ください。

こんなとき	原因	対処方法
Select・Cancelボタンが 消灯している。	【電源プラグ】がコンセントに差し込まれていない。	【電源プラグ】を正しい電圧の電源コンセントに差し込む。
	【器具用プラグ】が【プラグ挿入口】に差し込まれていない。	【器具用プラグ】を【プラグ挿入口】に確実に差し込む。
	約10分操作をしなかった。	Select・Cancelボタンをタッチする。
吹きこぼれる。	「MAXライン」より上に牛乳や水などを注いだ。	「MAXライン」より下に牛乳や水などを注ぐ。
お茶の味がうすい。	【ストレーナー】に入れた茶葉に、水または牛乳が浸っていない。	水または牛乳の量を増やすなど調整する。
確認後、なお異常があるとき。	カスタマーセンターまでご相談ください。 無料修理規定と保証書をご参照ください。(裏表紙)	

警告

改造はしない。また、修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

仕様

品名	ミルクティーメーカー
品番	RMT-1
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	300W
商品サイズ	約9.5(W)×9.5(D)×18.5(H)cm
重量	約450g
容量	約350ml (MAXライン) / 約240ml (MINライン) / 約100ml (Milk foamライン)
主な素材	本体 / ポリプロピレン、ステンレス、トライタン キャップ / ポリプロピレン カバー / ポリプロピレン、シリコーンゴム フローサー / ステンレス、POM
コード長	約1.0m
生産国	中国

※仕様は改善のため、予告なく変更することがあります。

※特定地域(高地、厳寒地など)では、所定の性能が確保できないことがあります。

※この製品は、電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。

海外で使用し故障した場合、アフターサービスや無償修理保証の対象外になります。